

水戸市の防災情報伝達対策における ラジオの有効性について

水戸市 防災・危機管理課
小林 良導



水戸市マスコットキャラクター みとちゃん

説明のポイント

- ① 水戸市の防災情報伝達対策の強化におけるラジオ放送について
- ② FMぱるるん 76.2MHz（水戸コミュニティ放送株式会社）との連携体制について
- ③ 令和元年東日本台風の対応において、効果を発揮した防災ラジオについて
- ④ さらなる強化策について
「臨時災害放送局」の開設・運用に向けた対策

水戸市について

位置と地勢

水戸市は、首都東京から北東へ約100km、茨城県の県庁所在市であり、県の中心よりやや東部に位置しています。

市の北側はひたちなか市、那珂市、城里町に接し、東側は大洗町、南側は茨城町、西側は笠間市に接していて、地形は低地地区の南東部、台地地区の中央部、丘陵地区の北西部に分けられます。



※那珂川は、流域延長が約150km、下流に位置する水戸市では、直線で水戸駅まで約600mに位置し市街地を流れる。

水戸市の防災情報伝達対策

東日本大震災の教訓等を踏まえ、対策強化に努めています。

「分かりやすい言葉による 早め早めの情報発信」

PULL 型

- ・ ホームページ
- ・ テレビ
- ・ ラジオ
- ・ 各種 SNS

PUSH 型

- ・ 防災行政無線
- ・ 緊急速報メール
- ・ 広報車
- ・ 防災ラジオ
- ・ 登録制メール
- ・ 防災アプリ
- ・ 市民の声掛け

FMぱるるんのご協力によるラジオからの情報発信



緊密な連携



MITO CITY

FMぱるるん 76.2MHz (水戸コミュニティ放送株式会社)
FMぱるるんは、水戸市域を中心に放送区域を有するコミュニティ放送局であり、災害時には、水戸市からの情報をきめ細かに発信していただいています。

F Mぱるるんととの連携体制等について

- ① 「災害時におけるラジオ放送に関する協定」を締結し、優先的な災害放送の実施体制を確立
 - ② 緊急割込放送設備（Jアラート連動、市職員による電話割込）を導入
 - ③ 防災ラジオの運用を開始（約18,000台）
 - ④ 平時における、定期的な防災訓練（シェイクアウト・いっせい防災訓練等）の実施
- ※ 被災地における臨時災害放送局の開設に関する連携（関東東北豪雨において、常総市役所に設置）

緊急割込放送設備関係

- ・ 防災・危機管理課脇の通信室内に遠隔操作卓を整備
- ・ 災害時等において、即座にラジオの割込み放送を行う
- ・ 緊急の場合、現場等から、携帯電話により、割込み放送が可能



シェイクアウト・いっせい防災訓練の様子

- ・ 水戸市役所内に
仮設スタジオを開設
- ・ 市民の皆様は、災害時を
イメージして、ラジオを
聞きながら、安全行動等
の訓練を行います。



「災害時には、FMぱるるん76.2MHz」を合言葉に！！

連携体制の事例

関東・東北豪雨の対応において、
常総市に臨時災害放送局を設置したときの様子



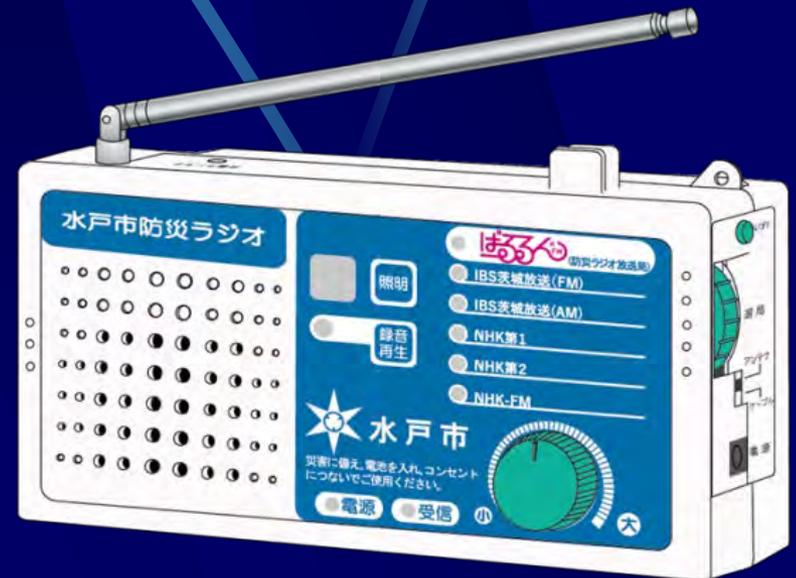
防災ラジオの概要

■防災ラジオの特徴

- ① 水戸市からの災害情報を自動起動で放送
- ② 国からの緊急情報（大津波警報等）は、即時に連動放送
- ③ 録音再生機能により、災害後の細かな給水情報等をくり返し確認が可能

次に該当する方に無償貸与

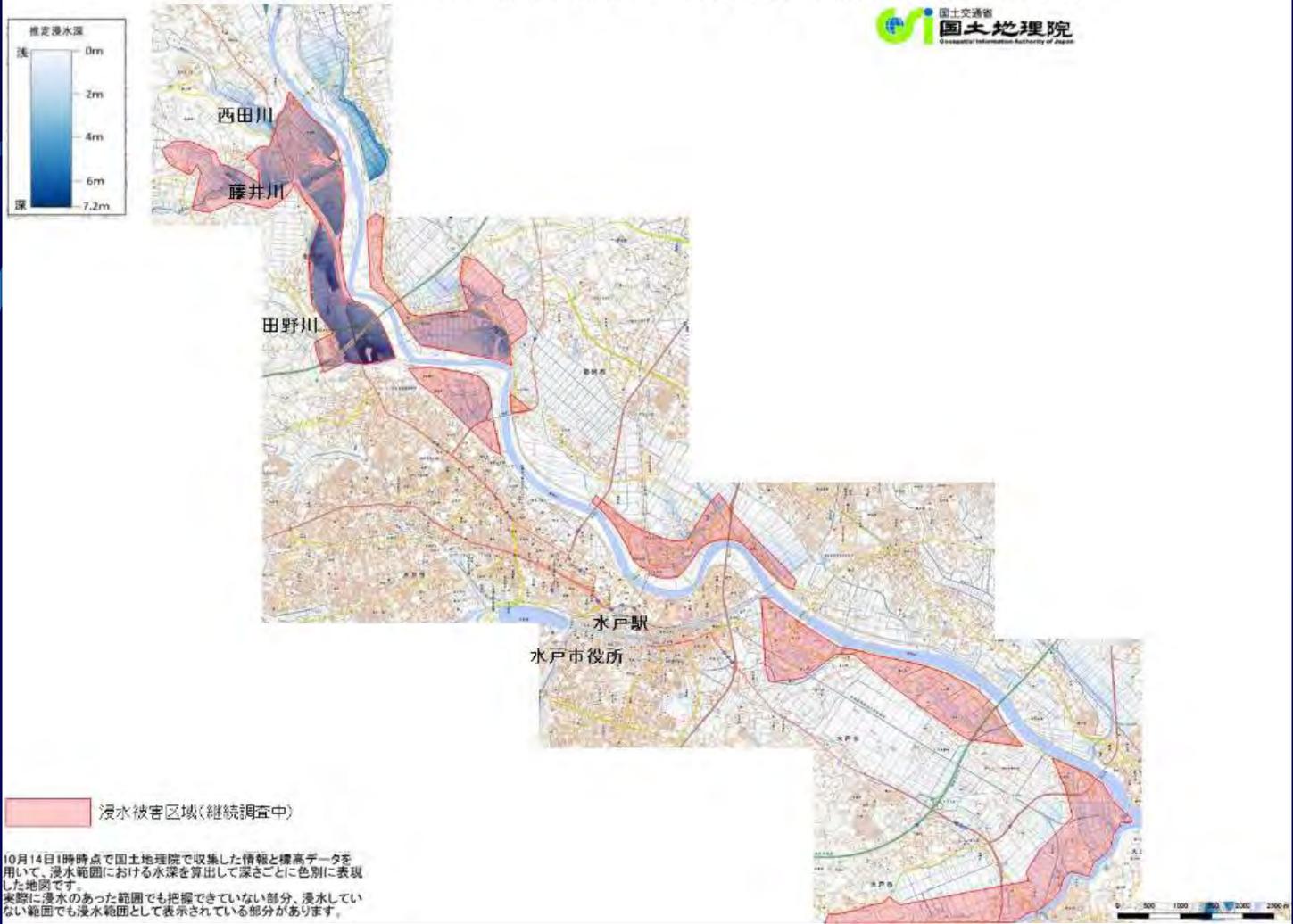
- ・ 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等にお住まいの町内会の範囲が一部でも該当している世帯
 - ・ 避難行動要支援者名簿に登録されている方
 - ・ 防災行政無線を撤去する区域にお住まいの世帯
 - ・ 民生委員など、災害時に地域の支援活動を行う方
- ※上記以外で希望される方には、4,500円で有償貸与



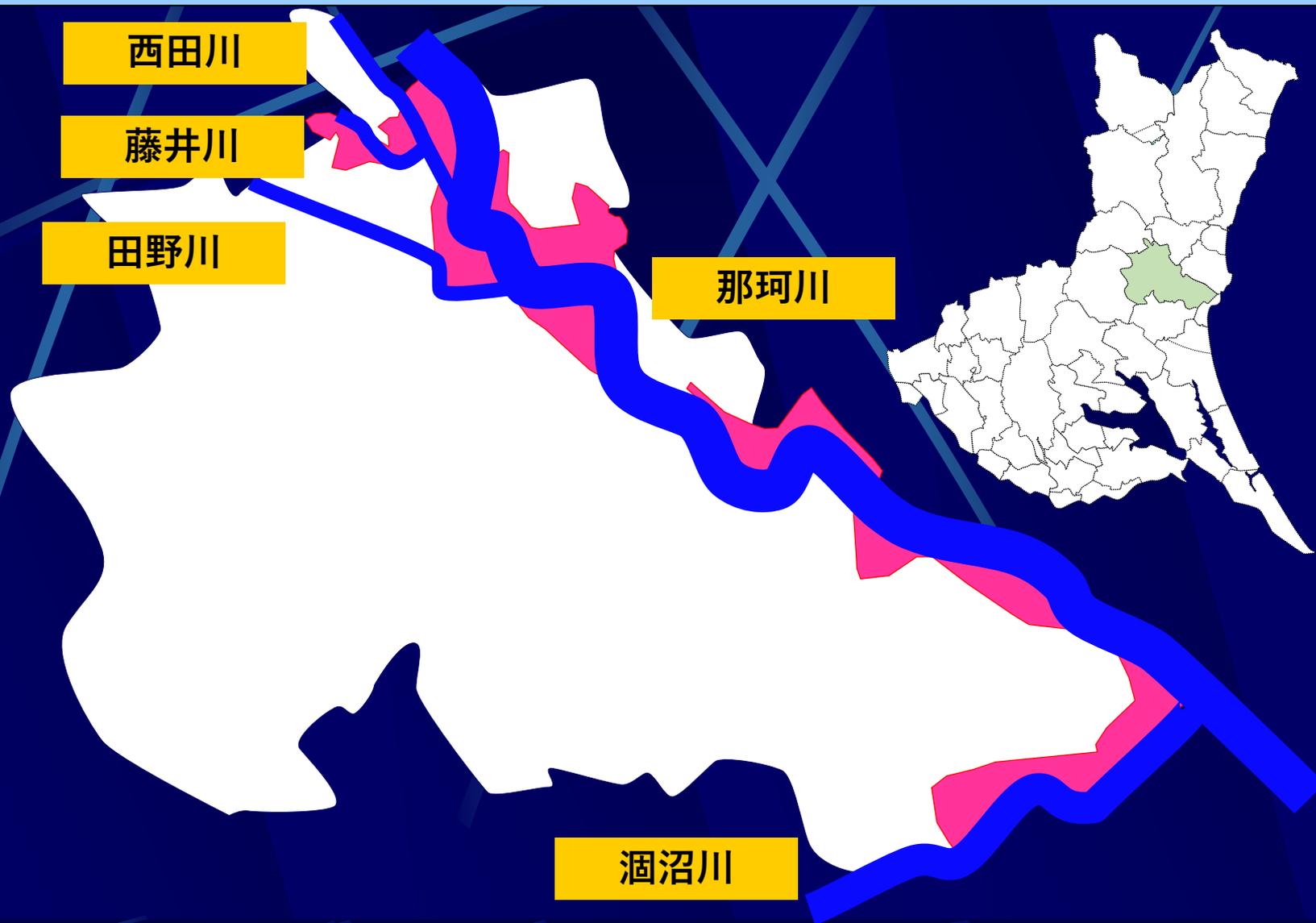
➡ 令和元年東日本台風で効果を発揮

令和元年東日本台風の被害等

令和元年台風19号に伴う大雨による浸水推定段彩図(那珂川1)



令和元年東日本台風の浸水状況（イメージ図）



被害状況 (1)



被害状況 (2)



被害状況 (3)



被害状況 (4)



被害状況 (5)



被害状況 (6)



被害状況 (7)



令和元年東日本台風の被害状況（その1）

1 人的被害

死者 0名

けが人 2名（中等症1名，軽症1名）

2 建物被害（住家）（12月27日現在・判明分）

全壊 49件

半壊 344件（うち大規模半壊116件）

一部損壊 343件

合計 736件

令和元年東日本台風の被害状況（その2）

3 避難状況

(1) 指定避難所, 緊急避難所

避難所開設か所数	65か所
最大避難者数	2,442名（10月13日8時）
避難所開設期間	10月12日～12月2日 計52日間

(2) 福祉避難所

避難所開設か所数	6か所
最大避難者数	83名（10月13日7時）

防災ラジオでの情報伝達（放送内容）

1 災害発生前

避難の呼び掛け

- ・ 避難準備・高齢者等避難開始情報など
- ・ 垂直避難など、命を守る行動の呼び掛け 等

2 災害発生後

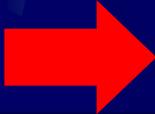
災害復旧情報などの伝達

- ・ 現地対策本部の設置
- ・ 現地での総合窓口の設置
- ・ 各種支援制度 等

防災ラジオでの情報伝達（効果）

（市民の皆様からいただいたご意見）

- 1 地域のきめ細かな情報を確認できた。
- 2 自動で起動するので、放送に気付くことができ、リアルタイムの情報を確認できた。
- 3 時系列の放送内容を繰り返し確認することができた。
①台風の接近情報・気象予報→②高齢者等避難情報→③避難勧告→④河川水位→⑤避難指示→⑥垂直避難など、命を守る行動の呼び掛け
- 4 操作が容易で、迷わず使用できた。

 台風後にラジオの申請数急増。有効性を再認識した。

ラジオによる災害情報発信のさらなる強化策

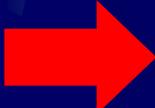
ラジオの緊急放送の確保

➤現状の対策

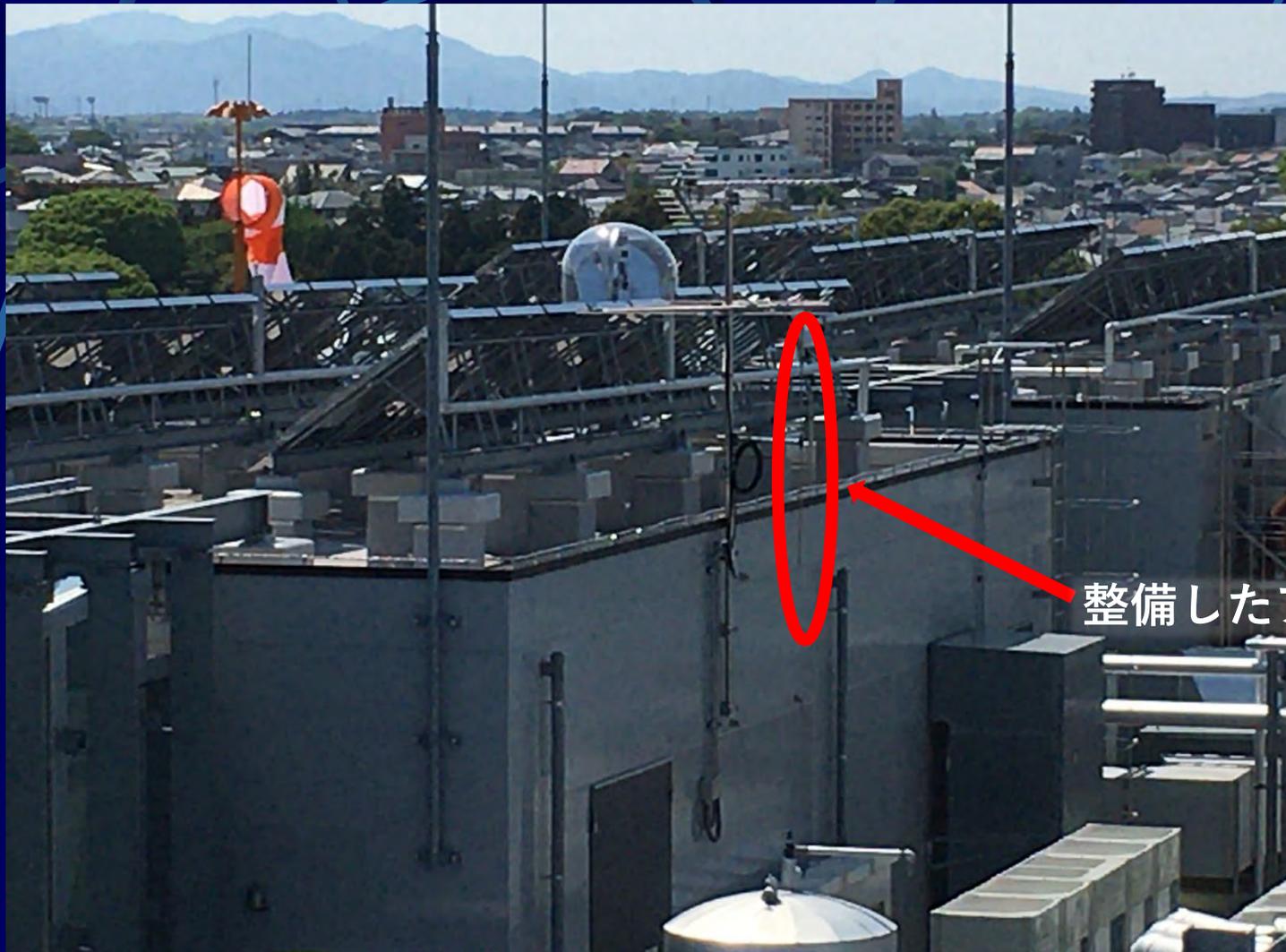
停電時や割込放送機器が被災した場合等においても非常用電源をはじめとするハード整備とともに、FMぱるるんのご協力により、緊急放送の確保に努めています。

➤さらなる強化策

あらゆる事態においても、確実にラジオによる緊急放送を確保するため、迅速かつ円滑な「臨時災害放送局」の開設・運用に向け、対策を推進してまいります。

 アンテナの整備，訓練の実施等

市役所屋上に整備したアンテナ



整備したアンテナ

今後とも、FMぱるるん 76.2MHz（水戸コミュニティ放送株式会社）のご支援とご協力をいただきながら、ラジオによる災害情報の発信強化を推進し、市民の皆様のお安全はもちろんのこと、安心していただける地域づくりに取り組んでまいります。

ご清聴ありがとうございました！



水戸市マスコットキャラクター みとちゃん